



今年も「じゃが祭り」に参加 . . .

8月5・6日の2日間、倶知安町の駅前通りで開催された「第44回くっちゃんじゃが祭り」に参加し、子供広場を企画・運営いたしました。

多くの子供たちや家族連れが訪れ、会員手作りのたこ焼き・焼きそばなどに舌鼓を打ってくれました。

じゃが祭りの思い出と今後 (桐木和博 企画委員長)

じゃが祭りの出店に関わって二十年ほど経ったでしょうか、始めた当初は子供中心で、迷路作りや、輪投げ、ザリガニの配布等大変でしたが楽しい思い出が沢山御座います。

平成4・5年頃から子供と大人が半々ぐらいの割合で、最近はこちらかと言えば大人中心に成ってしまっています。

お祭りに出てくる子供が少なくなったとも思いますし、一般のお客様の嗜好や考え方が変わって来ているのだらうと思います。数年前から他の出店も色々出ていますから少しづつ売り上げも含めて低迷して来ている状況です。

そろそろ建築士会の出店、じゃが祭りへの参加の仕方など考えなければいけない時期に成って来たようだと思えます。

出来るだけ若い会員の意見を取り入れて進めてはいますが、建設業の不景気から会員の減少、高齢化等など建築士会其の物もいろいろな問題が有りますから、企画委員会のメンバー以外の会員の皆様にも考えて頂かなければ成りません、是非この状況から脱しうるアイデアを多く募集いたしたいと思えます。

私個人的には建築士会員の皆さんには勿論ですが、賛助会員の皆様や、建設業に携わる会社の皆さんに助けられ何とかやってこれたと思っております。心から企画の担当者としてお礼申し上げる所です。又今後の御支援も宜しく御願いたします。



青年委員会活動報告

(道塚 勉 青年委員長)

本年度より青年部改め青年委員会となり活動しています。本年度の活動状況は

1) 青年連絡会議の出席：2名(3/25：札幌：かでの2.7)

講演・ワークショップ共“建築の目的を問う”ユニークな内容でおもしろい。

2) 第1回道央ブロック会議の出席：2名(4/00：札幌：グランド居酒屋富士)

桂枝光氏の落語という風変わりな講演であった。たのしい人間学として良いものであった。

(この回はCPDに認定されなかったが、認定委員会とは頭が固いものだ。)

3) 第2回道央ブロック協議会の出席：1名(6/17：小樽：朝里川温泉ホテル武蔵亭)

いつもの小樽支部ならではの(昆布屋社長)の地域色のある講演であった。

4) 第4回道央ブロック協議会の出席：予定2名程度(11/18：千歳：支笏湖観光ホテル湖水館)

5) 青年建築士の集い(5/28：中標津) 第3回道央ブロック協議会(8/19：岩内) 全道大会は欠席

随時、事務局より上記会議等の参加を呼びかけております。しかしながら出席メンバーが固定化しているのが現状であります。一度出席するとそれほど堅苦しいものではありません、なかなか楽しいです。皆様のご参加をお待ちしております。

第32回(社)北海道建築士会全道大会 開催

9月2日、第32回北海道建築士会全道大会が札幌市教育文化会館で開催され、当支部から宇田支部長、井原副支部長、榊副支部長、桐木企画委員長、上正路副技術委員長、原田理事、阿部事務局次長、佐藤事務局長の8名が出席しました。

分科会は、C分科会の「その時都市は、～安全なまちづくりを支える応急危険度判定の技」に参加しました。内容は、実際に、被災地に赴き判定をなされた3名の方の体験談と問題点を官及び民の立場を通しての発表とパネルディスカッションでボランティア参加と地元自治体、住民、それぞれの思いの違いが浮き彫りになるなど今後の判定士組織づくりの参考になりました。中間に例題を通した判定技術の確認を行いました。その後、基調講演そして大会式典が行われて、最大の行事である大懇親会にて旧交を温めた次第です。

なお、当支部からニセコ原酒2升を地元特産品として提供しています。

来年は、帯広で第50回全国大会(北海道大会)が行われます。是非、大勢で出席したいと思います。



C P Dデータ登録の支部一括受付(12月9日)

是非 登録しましょう!

建築士の社会的な責務を全うするために必要な能力開発を継続的に行い、その内容を社会に明示することを目的とするC P D(建築士会継続能力開発)制度が導入されて3年が過ぎました。

10月31日現在、C P D制度に参加登録している会員は、北海道で1,500名(全道で24.3%)おり、その内、支部では31名(支部で35.5%)が参加しています。全国では29,290名(7月末)の会員が参加しています。

C P Dの単位は、講習会や自己学習(会誌の講座)等や士会活動、業務実績等で得ることができます。しかし、取得した単位のデータを本部に送りデータ登録を済ませないと単位を獲得したことが証明できません。昨年より随時データ登録ができるようになっています。支部の状況は23名の方がデータ登録を行っておりますが、残りの9名の方が未登録で、手帳を持っているだけの状態です。さらに、今年度のデータ登録の終了者は現在のところ3名のみです。

データ登録は申請した年の前年のデータまで登録されるので、今回行くとH17年1月からのデータが登録されます。年を越してH19年のデータ登録では、H17年のデータが無効となってしまいます。

そこで、12月の支部総会の時に支部が窓口となって受付を行い、まとめて本部に送ることにいたし

ました。この機会に是非データ登録を行って下さい。

C P D単位が少ない方は、建築士会の会誌「建築士」の自習型研修が毎月1単位ありますので、読破して下さい。12単位獲得できます。また、実務実績が月2単位で24単位獲得できます。是非、36単位を無駄にしないようにしましょう。

実務実績は、実務実績登録シートに「前回の手帳提出時」から「手帳提出の前月」までの業務実績を記入します。業務の名称、業務期間、職務上の立場、業務内容(工事概要も必要)が必要です。様式は、本部のホームページでダウンロードできます。要領の不確かな方は、受付当日に総務委員会でお手伝いしますので、11月までの業務について下調べをしておいて下さい。

受付時に必要なものは、個人でデータ登録を行うのと同様で、

登録更新料 2,000円

C P D手帳

実務実績登録シート(様式第4号、第5号)

返信用封筒(宛先を記入、普通郵便は切手140円、また、着払い宅急便は270円)

となります。

是非、C P Dのデータ登録を行きましょう。不明な点は、事務局に確認してください。